

議案第12号、令和7年度大月市一般会計予算に対する反対討論を行います。

本予算最大の争点は、市議会として市役所新庁舎建設事業にゴーサインを出すかどうかです。私の立場を申し上げる前に、侃々諤々（かんかんがくがく）だった質疑を簡単に紹介します。

建設に反対するのは、財政負担が身の丈以上になり将来市民サービスを維持できなくなるのではと心配するからです。いまでも市道がデコボコで舗装がままならない箇所があるのに、これから人口が減り税収が減って高齢者福祉サービスまで削られたら生きていけない。市役所が古くても死にはしない、空き施設ではダメなのかと。

一方、賛成意見はどうか。実は建設に賛成するのも、市民サービスを維持するためなのだ。全く同じ目的を訴えました。2016年の熊本地震で宇土市では市庁舎が崩壊寸前となり、災害直後に対応に当たるべき行政が機能不全に陥りました。支援物資の滞留、長期化する避難生活、大量に発生する災害廃棄物。庁舎の被災は、災害対応の遅れや行政サービス低下につながり、市民生活に影響を及ぼしました。一日も早い建設こそが、教訓を生かすことになると。「反対」、「賛成」に込められた「市民サービスを維持するために」との思いを市長・執行部はしっかり受け止めてほしいと思います。

「新しくなって喜ぶのは職員だけ」という声が聞こえているのでしょうか。職員のモチベーションをあげることは大事なことですが、大金をかけることなのかどうか。小林市長が「人の役に立つ市役所」をつくると言ったのは、市民の中に市職員の働きぶりへの不信感があるのではと思ったからではありませんか。「休まず、遅れず、働かず」という批判があります。大月市役所には当てはまらないと、ぜひ打ち消してほしいと思います。私は新庁舎を建てるなら、市職員がそのご恩にしっかり応える心構えとそれにふさわしい仕事をすることが求められてくると思います。一般質問でも提言しましたが、AIを使い、日常業務を効率化して市民サービスのあり方を考える余裕を作り出し、市民目線での業務改善を図ることを求めたい。市職員は「全体の奉仕者」としての職務を担う労働者です。主権者である地域住民の人権、生きる権利を保障するために働くことが、生きがいにもなる仕事です。デジタル化をすすめ、「地域のどこでも誰もが便利に快適に暮らせる社会」の実現のために、しっかりと考え仕事をしてほしいと思います。

次に、私が本予算に反対する理由を述べたいと思います。私は新庁舎建設に賛成ですが、だからと言って、予算がすべてOKとはいきません。増える基金を、市民サービス充実のために、もっと積極的に活用すべきだ。これが反対理由です。

予算審査を通じて、なぜ子育て支援策を次々と打ち出せないのか、是正すべき正体をつかめたように思いました。小林市長は、「無料化のサービス合戦はしない」としていますが、あらがわずに人口減少をあきらめているように感じます。これを合理化するために、前面に出ているのが財政危機です。財政が厳しいからあれこれ考えても仕方ないというわけです。

昨年の予算議会は、例年の2倍10億円も基金が取り崩され、財政上これまでにない危

機感を覚え、私はすっかりその気にさせられました。ですから去年は、「財政危機なのに中期財政計画を作らないのか」とあおるようなことを言いました。しかし実際は、令和6年度は12月末時点で基金が逆に2億円増えています。質疑で、令和7年度も地方交付税の増加、ふるさと大月応援寄付金も大きく崩れる状況は見られないので、私は「基金が倍になった、財政危機ではない。攻めの予算を組むべきだ」と主張しました。しかし、財政当局からは「今まで基金が少なすぎた、もっと積みたい」と、相変わらずの答弁でした。

私は12月定例会の一般質問で、「新年度に向け、何に力を入れるべきか」と問い、東京からの移住者やUターンを増やすため、また東京への転出を思いとどまらせるために、「東京都並みの、手厚い子育て支援策の実現が必要ではないか」と訴えました。その時は、「新年度から学校給食費無償化が始まるので、それ以外は財政的に厳しい」との話だったわけですが、私は十分できると思います。東京都と同じように、大月市でも第一子から保育料を無償化するには、新たな費用が2160万円余りかかりますが、「大月市子ども未来創造基金」を創設し財源保証をするなら恒常的な事業として十分できます。

結果的に、あくまで結果的に、予算を慎重に扱う市長や職員の努力によって短期間に基金は倍になりました。普通会計の基金の合計は、令和元年度25億円、令和6年度50億円です。感謝すべきなのかもしれません。しかし、市役所では予算を残すことが「よし」とされ、結果的に対象でありながら各種施策・制度にたどり着かない、恩恵を受けられない市民が目に入らなかったことはありませんか。

職員の皆さんに訴えます。市民や市議会の期待に応えて、気づいてください。市民に喜ばれ感謝される仕事をするために、これからは、財政が厳しいと言われると思考停止するような組織ではいけません。市民のために、しっかりと考えて仕事をする市役所になってください。蛇足を申しましたが、以上で、反対討論を終わります。